

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



歌手「ミッシー・ヒギンズ」

今回は私が好きなシンガーソングライターのミッシー・ヒギンズさんを紹介したいと思います。どうぞ、楽しんで読んでくださいね!

The Sound of White (白の音)

ミッシー・ヒギンズは6歳のころからピアノを始め、15歳で「All for Believing」(信じて行こう)という曲を作りました。この曲は2001年に姉が応募したラジオ局のコンテストで優勝を飾り、連日のようにラジオから流れるようになりました。デビューアルバム「The Sound of White」は2004年に発売されて大ヒットし、収録されている陽気な歌や穏やかなバラードソングは耳に心地よく、私のおすすめのアルバムです。

彼女が伝えたい3つのこと

個人的な意見ですが、彼女はこのアルバムを通じて3つのことを感じてもらいたかったのだと思います。

1つ目に、「Scar(傷)」という曲では、「A triangle trying to squeeze through a circle, he tried to cut me so I'd fit (丸を突き破ろうとしている三角形、彼は私を枠にはめるために切って角を取ろうとした)」という歌詞があり、多くの人が型にはめようとしてくけど、彼女は自分らしくありたいと個性の大切さを伝えています。

2つ目に、「Nightminds(夜の心)」という曲の中で、「And in our honesty, together we will rise, out of our nightminds and into the light at the end of the fight (私たちはお互い素直になって、夜の心を突き破り、戦いの末に光の方へ進んで行く)」という歌詞は、彼女に障害がある可能性がうかがわれ、同じく障害で苦しんでいる恋人を助けるために、一緒に立ち向かっていこうという気持ちを歌ったのだと思います。これは困難に立ち向かい乗り越える力を身に付けることは大事だと教えてくれます。

3つ目はありのままの感情を表現することの素晴らしさを「The Sound of White(白の音)」という曲の中の「Like a freeze-dried rose, you will never be

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Shark Biscuit"

読み方 「シャーク・ビスケット」

意味 「初心者のサーファー・小型のサーフボード」

「Shark Biscuit」を直訳すると「サメのビスケット」ですが、オーストラリアでは新米のサーファー、またはボディボード「Body Board」という小型のサーフボードという意味になります。初心者のサーファーは何回も失敗してよく海に落ちるため、サメのエサ(おやつ)になる可能性が高いことや、サメが「Body Board」に噛み付くことが何度もあったことから「Shark Biscuit」と呼ばれてきたそうです。

what you were, what you were to me in memory (フリーズドライのバラの花のようにあなたはもう私の記憶の中のあなたには戻れない)で、



▲提供: Stuart Sevastos

親戚が亡くなった時の絶望した気持ちを歌っています。また「Ten Days」(10日間)という曲では、「And it's been ten days without you in my reach, and the only time I've touched you is in my sleep. But time has changed nothing at all - you're still the only one that feels like home (あなたが私の側からいなくなって10日も経ってしまった。あなたにさわることができるのは夢の中だけになったけど、今でも何も変わらない、そばにいて安心するのはあなたと一緒にいるときだけ)」という歌詞があり、彼女は恋人と別れた後の飾らない気持ちを伝えています。

心に響く音楽

ミッシーの曲は聴く人が感情のままに音楽へ没頭してしまう芸術的な美しさがあり、悲しさや愛、憧れなどの感情を隠喩で表現しています。

このアルバムは美しい歌で溢れています。私が訳した歌詞は元の英語の気持ちや意味、格好良さなどに比べてうまく表現できていないかもしれませんが、みなさんもぜひミッシーの歌を聴いて彼女の音楽と言葉を味わい楽しんでみてください。